



授業で 学校図書館で スポーツ漫画を小学校30校で教材活用

『弱虫ペダル』を小学校で読んでみたら



福島県郡山市小学校

人気スポーツ漫画を小学校の教材として導入したら、どのような教育効果が得られるのでしょうか。「週刊少年チャンピオン」に連載中のスポーツ漫画『弱虫ペダル』を発行する秋田書店と朝日小学生新聞が共同で、全国の小学校30校に『弱虫ペダル1巻-27巻』を寄贈し、授業や学校図書館への設置などで活用してもらいました。

*配本を希望する全国の小学校1700校超の中から抽選で30校に寄贈。2018年11月~2019年1月にかけて学校内で活用してもらい、その結果をアンケートで答えてもらいました。

【『弱虫ペダル』とは】 渡辺航による漫画作品。小柄で気が弱いアニメオタクの高校生・小野田坂道が、自転車ロードレースの世界で才能を開花させ、仲間やライバルたちと競い合いながら成長していく姿を描く。2008年より『週刊少年チャンピオン』(秋田書店)にて連載中。19年3月現在、60巻まで刊行。15年に第39回講談社漫画賞の少年部門を受賞。舞台・アニメ・映画など、さまざまな形で作品化され、あらゆる世代から支持を集めている。

『弱虫ペダル』を活用した教育活動事例

道徳の授業

「仲間を信頼することや協力することの大切さ」を学ぶ (大阪府茨木市小学校)

導入した理由

- 道徳教材への活用
- 図書室の充実(読書への興味・関心づけ)

活用事例

●道徳の授業への活用(5年生)

「仲間を信頼することや協力することの大切さ」「より高い目標に向かってがんばろうとする気持ち」について、『弱虫ペダル』の一場面から「自分だったらどうか」という視点で交流しました。

<題材にした場面>
大事な大会2日目に、体調を崩し止まってしまう田所を、巻島と坂道が助けに戻るか、戻らないかでやり取りする場面 『弱虫ペダル』14巻より



青いテープに名札をはり、一人ひとりの「もどる」「もどらない」の意見を視覚化しました。下のテープは友だちの意見を聞いて、自分の考えが変わったかどうかについての変化を見るためのものです(担当教諭)



図書室への設置



図書室で、児童が手に取りやすい場所へ配置しました。ふだん、あまり図書室へ来ない児童も図書室に来て、『弱虫ペダル』を熟々と読む姿が見られるようになりました。漫画だと読書へのハードルが低く、読書やスポーツへの興味・関心づけに効果がある、と実感しました。「続きが読みたい」と言う児童が増えています。

教諭の感想

子どもたちからは多様な考えが出て、お互いの意見を受け止めつつも、「自分はこう思う!」という意見をたくさん出してくれました。こうした方がいいという正解はないですが、お互いの多様な意見を知り合うことで、自分の考えを広げるきっかけにもなった気がします。これからの生活で似たような場面に出会ったときの判断にも生かしてくれたらなと

思っています。漫画の教材化には多少の苦労をしましたが、内容のわかりやすさ、受け入れやすさ、登場人物への共感などから、様々な教育的効果につなげやすいことが実感できました。まだ実践はできていませんが、五輪競技の紹介や、キャリア教育などにも、教材として使えそうな気がします。

道徳の授業を受けた児童の反応

- 仲間とのチームプレイの中で、助け合うことの判断はとても難しいと分かった。「もどる」を選んだ人の、「一人を置いていけない」とか、「チームが勝つたい」という意見にも納得した。坂道くんの先輩の決断は、とても苦しいものだった。

- 大事ななと思ったことは、誰かが言っていたから言う通りにするのではなく、「自分はどうか」という意見を出したほうがいいことが分かりました。
- 勝つことよりも、仲間を大事にしようと思いました。そうすると仲間と少し仲良くなるのかなと思いました。

『弱虫ペダル』は教育効果あり!と回答

*導入校30校にアンケートで、「導入した評価」(10点満点)を聞き、27校から回答。平均7.8点(評価基準/1…効果なし、3…ほぼ効果なし、5…どちらともいえない、7…効果あり、9…期待以上)の高評価を得た。

【学校教諭からの声】

- 児童同士のクチコミでおもしろい本だということが広がり、図書室へ来る子が増えた。「負けず嫌いの人が多いからにはげみになる」と言っていた。(神奈川県川崎市小学校)
- 一冊の『弱虫ペダル』を囲んで皆で笑いながら物語について話し合っている様子が見られました。このように友だちと共有することのできる体験は、きっと大人になってからもよい思い出の一つとして児童の心に刻まれるのではないかとほほえましく思いました。(東京都世田谷区小学校)
- 委員会活動の中では、おたがいに感想を伝えあう児童が多く、キャラクターやセリフから印象に残ったことを紹介していた。自分が近づきたい人物像を見つけて児童や、逆に共感しづらい部分について熱心に語る児童もいた。(茨城県水戸市小学校)
- 5年生の学級文庫として活用し、そのクラスの「新聞係」が好きなキャラクター、好きなセリフのアンケートをとり、新聞を作成しています。(新潟県新発田市小学校)

- 5年生の国語「まんがの方法」という単元では、実際に漫画を読みながら学習を進めました。教科書の本文に手書きの文字の効果について説明が書かれているのですが、『弱虫ペダル』の中には登場人物たちの心情を表す挿入の文字が多く、とてもよい教材となりました。(千葉県松戸市小学校)
- 図書室に設置したことで1年生から6年生までいるような学年の児童が、休み時間や図書の時間にコミックを手に取り、熟読している様子が見られた。また、主人公に感情移入し、自分もみんなのためにがんばってきたいという考えをもつようになった児童もおり、教育的活用が効果的であったように感じました。(岡山県赤松市小学校)
- 図書室に設置してすぐに児童の目が輝き、順番待ちで読み始めました。自転車レースというスポーツを初めて知った児童も多く、とても興味深く楽しそうに読んでいました。今まで漫画は図書室に置かない形でしたが、本を読むことが好きになれない児童が図書室へ来るきっかけ作りを取り入れることを検討したいと思いました。(群馬県前橋市小学校)



栃木県宇都宮市小学校



- 読書が苦手な児童が毎日のように読みに来て、集中して読んでいた。同じ本を読むことで、異学年の間でも交流ができた。担任と一緒に読み、話題を共有できた。人間の強さだけでなく、弱い面や失敗に共感する児童がいた。(香川県高松市小学校)
- 朝の時間、静かに読書をする姿が見られるようになりました。朝、落ち着いて生活をするので、1時間目からスムーズにスタートが切れました。また、読んだ感想をおたがいに交流し合う姿が見られました。(岐阜県関市小学校)
- 学校で自由に漫画が読めるという時点で、児童の興味・関心が高く、内容も分かりやすいので物語の中に入り込みやすかったようである。特に仲間との絆やたがいに支え合って目標を達成していく姿が、卒業を間近にひかえた6年生の心に響いたようであった。(東京都江東区小学校)

道徳の授業

「おたがいを信じて」 (静岡県三島市小学校)

導入した理由

『弱虫ペダル』を通して、「自分にも何かできる」と感じられること。成長を実感していくこと。友情や信頼について伝えられると思ったから。

活用事例

●道徳の授業への活用(3年生)

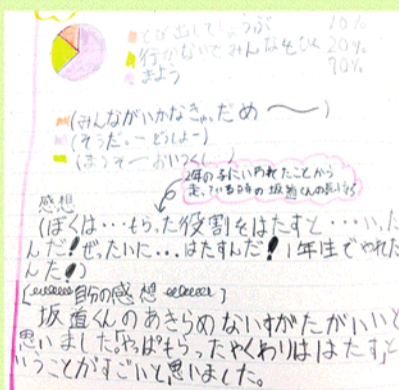
「仲間を信頼することや協力することの大切さ」「より高い目標に向かってがんばろうとする気持ち」について、『弱虫ペダル』の一場面から「自分だったらどうか」という視点で交流しました。

<題材にした場面>
大事な大会の1日目、坂道が金城主将から任された役割を果たすため、落車し最下位になってから必死に100人抜きを目指す。その間、巻島が、他校のライバル・東堂との勝負を胸に、坂道が追いついてくるのを待つ場面。 『弱虫ペダル』11巻より



道徳の授業のあと、図書室へ行き、喜んで読んでいます(担当教諭)

子どもたちに「心情円」を使って心の様子を考えさせ、発表させました(担当教諭)



教諭の感想

子どもたちの描いた心情円の割合は、東堂くんどうしてか戦いたい気持ちよりも、チームをこのまま引いてチームが勝つことを大切にしたい気持ちの割合のほうが多くなっていました。迷う気持ちを理解しながら、自分だったらと考えていました。チームの勝利のために我慢している、という

うことと同時に、巻島先輩は坂道くんが絶対に来ると信じて待っていると捉えられていました。道徳の「友情、信頼」の内容項目にぴったりだと感じました。「自分にも何か得意なことがあるはず!」だと子どもたちも口に出し、1つこのことにトコトコ取り組むことへのあこがれをもったようです。

道徳の授業を受けた児童の反応

- 巻島先輩が小野田くんを信じているところを見て、小野田くんは「信じてもらえるくらい」になったんだなと思いました。運動が苦手なのに、もらった役割を一生懸命やっているところがすごいなと思いました。

- 自分を「役立たず」と思っても、いいことがない。前を向いて走ればいける。みんな自分を信用しているのがわかってすごかった。

【主な登場人物】総北高校

- 【1年生】
 - ①小野田坂道【タイプ】高回転クライマー。アニメ好きで、往復90kmの秋葉原への道のりをママチャリで毎週通う。自転車競技部に入部する。
 - ②今泉 俊輔【タイプ】オールラウンダー。自転車で世界最速を目指す。坂道に興味を持っている。
 - ③鳴子 章吉【タイプ】スプリンター。赤髪がトレードマークの関西出身レーサー。異名は浪速のスピードマン。
- 【3年生】
 - ④金城 真護(主将【タイプ】オールラウンダー)
 - ⑤田所 迅【タイプ】スプリンター
 - ⑥巻島 裕介【タイプ】クライマー

累計発行部数
2,000万部突破!!
『弱虫ペダル』60巻まで
好評発売中! (2019年3月時点)

ママチャリで激坂を登り、秋葉原通り、往復90km!!
アニメにゲーム、ガシャポンフィギュアを愛する高校生・小野田坂道、驚異の激コギ!!
ワクワクの本格高校自転車ロードレース巨編!!

